

岐阜市立市橋小学校で高校生と一緒に防災講座を行いました

令和7年10月21日（火）、岐阜市立市橋小学校で5年生121名に防災講座を行いました。今年4月から当研究所が防災について教えてきた岐阜県立岐阜総合学園高等学校環境テクノロジー系列2年生25名の生徒が先生となって、伊勢湾台風・昭和51年9.12豪雨災害など過去の水害や近年頻発する線状降水帯、水害への事前の備えなどについて説明を行いました。この取組は去年の2年生が行った「岐阜市立三里小学校」に続いて、2回目となります。

講座では、画像・実験を通して分かりやすく一生懸命に伝え、児童もメモを取りながら真剣に耳を傾けていました。また、ペットボトルを使った竜巻や雲をつくる実験では、高校生と児童が親しみながら交流する機会となりました。

最後に代表の児童からは「堤防が決壊することは知らなかった」「水害がどんなに危険なことか分かったし、実験を通して具体的にどういうことが起きるのか楽しく知ることができた」などの感想がありました。小学校の教諭からは「高校生の生徒さんの参加は、小学生にとって親近感が湧き、興味を持って説明を聞くことができました」「児童の目線に立って話を進めてくれていたのがよかった」などの感想がありました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

